

令和 2 年度

学生募集要項

推 薦 入 試

令和元年 10 月



◎入学定員・募集人員

学部・学科	入学 定員	募 集 人 員									
		推 薦 入 試						A O 入 試 * 1	一 般 入 試		
		小論文・面接 を課す	センター試験・ 面接を課す	センター試験 のみを課す	計	前期 日程	後期 日程		計		
										推 薦 入 学 A	推 薦 入 学 B
システム科学技術学部	240	17	14	22	10	8	71	3	120	46	166
機 械 工 学 科	60	4	4	5	—	—	13	3	34	10	44
知能メカトロニクス学科	60	4	2	6	—	4	16	—	30	14	44
情 報 工 学 科	40	3	2	3	—	4	12	—	18	10	28
建築環境システム学科	40	2	2	4	6	—	14	—	20	6	26
経営システム工学科	40	4	4	4	4	—	16	—	18	6	24
生 物 資 源 科 学 部	150	20	17	14	—	—	51	—	71	28	99
応 用 生 物 科 学 科	40	2	4	6	—	—	12	—	20	8	28
生 物 生 産 科 学 科	40	4	4	4	—	—	12	—	20	8	28
生 物 環 境 科 学 科	30	2	3	4	—	—	9	—	15	6	21
アグリビジネス学科	40	12* 2	6	—	—	—	18	—	16	6	22
合 計	390	37	31	36	10	8	122	3	191	74	265

* 1 令和2年度A O入試の出願期間は、令和元年8月9日（金）で終了しています。

* 2 1 2 人のうち6人は秋田県内の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜し、その他6人は秋田県を含む全国の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜します。

◎推薦入試関係日程

	推薦入学A・B	推薦入学C	特別推薦入学 I	特別推薦入学 II
障害等のある入学 志願者の事前相談	令和元年10月18日（金） まで	令和元年12月13日（金） まで	令和元年11月22日（金）まで	
出 願 期 間	令和元年11月1日（金） ～11月8日（金）	令和2年1月6日（月） ～10日（金）	令和元年12月16日（月）～20日（金）	
試 験 期 日	令和元年11月16日（土）	令和2年2月1日（土）	令和2年1月31日（金）	—
合 格 者 発 表	令和元年11月23日（土）	令和2年2月12日（水）		
入 学 手 続	令和元年11月28日（木） 及び11月29日（金）	令和2年2月18日（火）及び19日（水）		

※出願受付は、土曜日、日曜日、及び祝日は行いません。

◎出願可能な対象者一覧

・システム科学技術学部

対象者	入試区分	推 薦 入 試				一 般 入 試	
		推薦入学A又は推薦入学B	推薦入学C	特別推薦入学 I	特別推薦入学 II	前期日程	後期日程
県内	高等学校(R2.3卒業見込み)	○	○（いずれか一区分）			○	○
	その他の者	×	×	○（いずれか一区分）			○

・生物資源科学部 （応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）

対象者	入試区分	推 薦 入 試			一 般 入 試	
		推薦入学A	推薦入学B	推薦入学C	前期日程	後期日程
県内	高等学校(R2.3卒業見込み)	○（いずれか一区分）			○	○
	その他の者	×	×	×	○	○

（アグリビジネス学科）

対象者	入試区分	推 薦 入 試			一 般 入 試	
		推薦入学A	推薦入学B	推薦入学C	前期日程	後期日程
県内	高等学校(R2.3卒業見込み)	○（いずれか一区分）			○	○
	高等専門学校(R2.3修了見込み)	○	×	—	○	○
県外	高等学校(R2.3卒業見込み)	○	×	—	○	○
	高等専門学校(R2.3修了見込み)	×	×	—	○	○

目 次

I	秋田県立大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等	1
	・システム科学技術学部 アドミッション・ポリシー	2
	・生物資源科学部 アドミッション・ポリシー	3
II	推薦入学A・B（小論文・面接を課す）	
1	出願資格	4
2	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	5
3	出願期間及び出願方法	6
4	併願上の注意	8
5	選抜方法	8
6	合格者発表	10
7	入学手続	10
III	推薦入学C（大学入試センター試験・面接を課す）	
1	出願資格	11
2	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	11
3	出願期間及び出願方法	11
4	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点	14
5	併願上の注意	15
6	選抜方法	15
7	合格者発表	16
8	入学手続	16

IV 特別推薦入学Ⅰ（大学入試センター試験・面接を課す）

1	出願資格	17
2	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	18
3	出願期間及び出願方法	18
4	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	21
5	併願上の注意	22
6	選抜方法	22
7	合格者発表	23
8	入学手続	24

V 特別推薦入学Ⅱ（大学入試センター試験のみを課す）

1	出願資格	25
2	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	26
3	出願期間及び出願方法	26
4	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点	29
5	併願上の注意	29
6	選抜方法	30
7	合格者発表	30
8	入学手続	30

VI 共通事項（推薦入学A・B・C、特別推薦入学Ⅰ・Ⅱ）

1	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	31
2	初年度納付金等について	31
3	授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について	32
4	入学試験成績の開示	34
5	入学前の指導	35
6	個人情報の取扱いについて	35
7	試験場案内	36
◇	出願書類の記入例及び記入上の注意	38
	高大接続改革に係る本学の入学者選抜改革の概要について（予告）	42

I 秋田県立大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等

● アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学では次のような資質を持つ学生を受け入れます。

1. 明確な目的とその実現のための意欲と学力を有すること
2. 旺盛な知的好奇心を持っていること
3. 必要なコミュニケーション能力があること

● カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学では、目的とする人材養成のため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとします。

1. 現代の科学技術の幅広い要請に応えられるよう、問題発見能力と解決能力を兼ね備えた、研究者・技術者及び教育者の育成を目指した教育を行います。
2. 時代の変化に対応し、自ら能力を磨くことができるよう、情報処理能力、外国語能力、コミュニケーション能力など、不断の学習活動に必要な基礎的能力の訓練を重視し、自立した社会人の形成に資する教育を行います。

● ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、下記の能力を身に付けた学生に学位を授与します。

1. 時代の変化に対応できる問題解決能力を備えていること
2. 自らを磨くことができる基礎的能力を備えていること

※このページの記載内容は全学のもので、学部、学科のアドミッション・ポリシーについては2・3ページで確認してください。又、学部、学科の詳細なカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについては本学ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/>）を参照してください。

※本学には、成績優秀者を対象に奨学金を給付する特待生制度があります。その内の「入学生特待生」は、大学入試センター試験の結果が認定要件となっています。詳細については、32ページを参照してください。

システム科学技術学部 アドミッション・ポリシー

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指しています。

したがって、以下の条件を基準として学生を受け入れます。

- | |
|------------------------------|
| ① 高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有すること |
| ② 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を有すること |
| ③ 旺盛な知的好奇心をもっていること |
| ④ 必要なコミュニケーション能力があること |

※注) システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいいます。

【求める人材】

システム科学技術学部では、上記の資質に加え、学科ごとに次のような資質を持つ人を求めています。

機 械 工 学 科	・機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ・ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	・数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ・メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	・情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意をもった人 ・数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ・自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	・基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ・建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経 営 シ ス テ ム 工 学 科	・経営工学を理解するのに必要な数学及び科学全般の基礎学力を有する人 ・社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲のある人 ・リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

【高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容】

理 科	物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理又は化学のいずれかを履修していることが望まれます。機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望まれます。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bに加え、数学Ⅲを履修していることが望まれます。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望まれます。
その他	他の教科・科目については、コミュニケーションのための十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理・歴史・公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望まれます。

【入学者受入の種類と選抜方法の概要】

推薦入学A・B・C	ものづくりに関する基礎的知識、論理的な思考力と記述力をみるための小論文（推薦入学A・B）及び大学入試センター試験による基礎学力（推薦入学C）と、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る人材であるかを判断するため、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などを確認するための面接を重視します。
特別推薦入学Ⅰ	チームワークで進めるものづくりを統括するプランナーとなり得るかを判断するため、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などを確認するための面接を重視します。大学入試センター試験は基礎学力が一定の水準に達しているかどうかの判定に用います。
特別推薦入学Ⅱ	大学入試センター試験による物理・数学の基礎学力判定とともに、ものづくりへの愛着や特定の分野に秀でた能力・素質や、学ぶ意欲を判断するため、志望理由書等の内容を重視します。

生物資源科学部 アドミッション・ポリシー

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身に付けて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指します。そのために、自らを磨くことができる基礎的能力、生物関連産業や農業・農村に関する基礎知識や関心を有する人材を受け入れます。

- ① 高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有すること
- ② 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を有すること
- ③ 旺盛な知的好奇心をもっていること
- ④ 必要なコミュニケーション能力があること

【求める人材】

生物資源科学部では、上記の資質に加え、学科ごとに次のような資質を持つ人を求めています。

応 用 生 物 科 学 科	・生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ・専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生 物 生 産 科 学 科	・植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ・植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲のある人
生 物 環 境 科 学 科	・身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ・自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人 ・自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探求心を有する人
アグリビジネス学科	・次代の農業・農村及び食産業の発展を図ることに熱意を有する人 ・生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探求心を有する人

【高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容】

理 科	生物基礎、化学基礎に加え、少なくとも生物又は化学のいずれかを履修していることが望まれます。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力を有していることが望まれます。(英検準2級程度以上)
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bを履修していることが望まれます。
その他	他の教科・科目については、基礎的レベルの知識を有していることが望まれます。

【入学者受入の種類と選抜方法の概要】

推薦入学A	基礎学力と生物関連産業（応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）、農業・農村（アグリビジネス学科）に関する基礎的知識、論理的な思考力と記述力をみるための小論文と、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などをみるための面接を重視します。
推薦入学B	基礎学力と生物関連産業（応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）、農業・農村（アグリビジネス学科）への関心、論理的な思考力と記述力をみるための小論文と、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などをみるための面接を重視します。
推薦入学C	大学入試センター試験による基礎学力、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などをみるための面接を重視します（応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）。

Ⅱ 推薦入学A・B（小論文・面接を課す）

1 出願資格

推薦入学Aについて

◆システム科学技術学部

次の①から④までのすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校の工業、情報、水産に関する学科又は総合学科（工業に関する専門科目を20単位以上修得見込みの者）を令和2年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）

※ 経営システム工学科については、上記の者に加えて、秋田県内の高等学校の商業に関する学科又は総合学科（商業に関する専門科目を20単位以上修得見込みの者）を令和2年3月卒業見込みの者も含む

- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の評定平均値が原則として4.3以上である者

◆生物資源科学部（応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科）

次の①から④までのすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校の農業又は水産に関する学科若しくは総合学科（農業に関する専門科目を20単位以上修得見込みの者）を令和2年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の評定平均値が原則として4.3以上である者

◆生物資源科学部（アグリビジネス学科）

次の①^{*1}又は②^{*1}のいずれかに該当し、かつ③から⑤までのすべてに該当する者

- ① 高等学校の農業、商業、工業に関する学科又は総合学科（農業、商業、工業に関する専門科目のいずれか、あるいはあわせて20単位以上修得見込みの者）を令和2年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第

3 項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む)

- ② 通常の課程による 1 2 年の学校教育の農業、商業、工業に関する学科を令和 2 年 3 月修了見込みの者
- ③ 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ④ 合格した場合には入学を確約できる者
- ⑤ 調査書の全体の評定平均値が原則として 4.0 以上である者

※1 ただし、工業に関する学科を卒業（修了）見込みの者は「生物基礎」、「生物」、「化学基礎」、「化学」から 2 単位以上修得見込みの者に限る。なお、前記科目と同等の内容と判断される他の科目を履修している場合は、10 月 15 日（火）から 18 日（金）までの間に、大潟キャンパス事務局入試担当（TEL 0185-45-2026）にご相談ください。

推薦入学 B について

◆システム科学技術学部及び生物資源科学部

次の①から④までのすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校を令和 2 年 3 月に卒業見込みの者で推薦入学 A の対象者以外の者（学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 104 条第 3 項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 調査書の全体の評定平均値が原則として 4.3 以上（アグリビジネス学科においては 4.0 以上）である者

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、31 ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間及び出願方法

(1) 出願期間

令和元年11月1日（金）から11月8日（金）まで（土曜日、日曜日・祝日を除く）

（受付時間：午前9時～午後5時）

(2) 出願方法

- ① 出願書類を志願者ごとに、所定の出願用封筒に入れた上で、高等学校長が取りまとめて、一括して提出してください。
- ② 出願は、「書留速達扱いの郵送」又は「持参」により行ってください。
- ③ 郵送、持参どちらの場合も、出願期間最終日の午後5時必着とします。
- ④ 郵送による場合には、高等学校名及び住所を明記の上、必ず封筒表面に「推薦入学A・B出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

(3) 出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(4) 出願書類

出 願 書 類	留 意 事 項
A 票 入学志願票 (原票)	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（38・39ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 連絡先等の電話番号は携帯電話等の番号を記入しても差し支えありません。
B 票 入学志願票 (電算処理票)	
C 票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（40ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 縦4cm×横3cmの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの）の裏面に志望学部、学科、氏名を記入し、全面を糊付けの上、写真貼付欄にはがれないように貼付してください。
D 票 写真票	
E 票 住所票	入学手続等の連絡を行うために使用します。郵便番号、住所、氏名を記入してください。
F 票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、令和元年10月25日（金）～11月8日（金）〔午後3時まで〕の期間に振り込んでください。 ① 必要事項を記入し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で、入学検定料17,000円を振り込んでください。ATMでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は振り込みされる方の負担になります。 ② 振込後、収納印を受けたF-3票（検定料振込証明書）を〔B票 入学志願票（電算処理票）〕の所定の欄に貼付してください。
調査書	文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。

H票 推薦書	本学所定の様式を使用して、高等学校長が作成し、厳封してください。様式は、本学のホームページからダウンロードしたものも使用可能です。
I票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための封筒として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵便分の切手を貼付してください。
J票 出願用封筒	① 上記書類を入れて提出してください。 ② 「志望学部」欄、「志願者」欄等に必要事項を記入してください。

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意（38～41ページ）」を参照し、黒色のボールペン等を用い楷書で正しく明確に記入してください。
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。
- ⑤ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(6) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	17,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	17,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、振込済みの検定料振込証明書を同封して請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城下野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和2年2月28日（金）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 併願上の注意

- ① 国公立大学の推薦入試への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入学A・B）の合格発表後に、同一学科の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学I・特別推薦入学II）に限り出願することができます。（推薦入学A・Bでアグリビジネス学科に出願すると、他学科の推薦入学Cへの出願はできませんので、ご注意ください。）なお、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学I・特別推薦入学II）への出願は、いずれか一つに限られます。
- ③ 本学の推薦入試に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 推薦入試の合格者は、推薦入試の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和2年2月19日（水）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

5 選抜方法

推薦書、調査書、小論文及び面接の結果を総合して判定します。

（1）試験日、時間割

- ① 試験日 令和元年11月16日（土）
- ② 時間割

学 部	時 間	試 験 項 目
システム科学技術学部	10:00～11:30	小論文
	12:30～	面接（時間は指定します）
生物資源科学部	10:00～11:30	小論文
	12:30～	面接（時間は指定します）

（2）試験場

- ① システム科学技術学部 本荘キャンパス
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
T E L 0184-27-2100 F A X 0184-27-2180
- ② 生物資源科学部 秋田キャンパス
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(3) 面接の内容

① システム科学技術学部

理科、数学についての基礎的な知識を問う試問を含め、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などを確認するための面接を行います（試問の内容は調査書の履修内容に基づきます）。

② 生物資源科学部

◆応用生物科学科、生物生産科学科、生物環境科学科

生物、化学についての基礎的な知識を問う試問を含め、学ぶ意欲、コミュニケーション能力、行動力をみるための面接を行います（試問の内容は調査書の履修内容に基づきます）。

◆アグリビジネス学科

農業・農村についての興味・関心、学ぶ意欲、コミュニケーション能力、行動力をみるための面接を行います。

(4) 配 点

学 部 名 (学科名)	小論文	面 接	計
システム科学技術学部	1 0 0	2 0 0	3 0 0
生物資源科学部 (応用生物科学科 生物生産科学科 生物環境科学科)	3 0 0	5 0 0	8 0 0
生物資源科学部 (アグリビジネス学科)	3 0 0	4 0 0	7 0 0

(5) 受験上の注意

- ① 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。
又、面接の際は、決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ② 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ③ 原則として、途中退室は認めません。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑤ 小論文試験及び面接のいずれかを受験しなかった場合は、入学選抜の対象から除きます。
- ⑥ 当日は、受験票、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを必ず持参してください。
- ⑦ 受験票は、小論文試験実施時には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑧ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。又、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も保管してください。
- ⑨ 小論文試験中に使用を許可するものは、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの）に限ります。耳せんは、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- ⑩ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。又、これらは時計とし

て使用できません。

- ⑪ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑫ 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えないので注意してください。
- ⑬ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑭ その他の注意事項については、受験票送付の際に併せて通知します。

6 合格者発表

(1) 発表日時

令和元年11月23日(土) 午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 学部毎に、次の場所に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を、高等学校長には合否通知書を送付します。

システム科学技術学部 本荘キャンパス正面玄関前

生物資源科学部 秋田キャンパス正面入口前

- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の掲載

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

- ※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

令和元年11月28日(木)・11月29日(金)

(受付時間：午前9時～午後5時)

(2) 入学手続場所

システム科学技術学部 本荘キャンパス

生物資源科学部 秋田キャンパス

(3) 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続に必要な書類の提出は、原則として「本人持参」により行ってください。その際、「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」を必ず持参し、提示してください。

- ※ 入学手続の際に、大学に入学するまでの期間を有意義に過ごすための学習等説明会を開催します。

Ⅲ 推薦入学C（大学入試センター試験・面接を課す）

1 出願資格

次の①から④までのすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校を令和2年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 志望する学部、学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者
- ④ 令和2年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験する者

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、31ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間及び出願方法

（1）出願期間

令和2年1月6日（月）から1月10日（金）まで

（受付時間：午前9時～午後5時）

（2）出願方法

- ① 出願書類を志願者ごとに、所定の出願用封筒に入れた上で、高等学校長が取りまとめて、一括して提出してください。
- ② 出願は、「書留速達による郵送」又は「持参」により行ってください。
- ③ 郵送、持参どちらの場合も、出願期間最終日の午後5時必着とします。
- ④ 郵送による場合には、高等学校名及び住所を明記の上、必ず封筒表面に「推薦入学C出願書類〇名分在中」と朱書きしてください。

（3）出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(4) 出願書類

出 願 書 類	留 意 事 項
A 票 入学志願票 (原票)	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意(38・39ページ)」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 連絡先等の電話番号は携帯電話等の番号を記入しても差し支えありません。 ③ 大学入試センターから交付された令和2センター試験成績請求票 国公立推薦入試用を、〔A票 入学志願票(原票)〕の所定欄に正しく貼付してください。
B 票 入学志願票 (電算処理票)	
C 票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意(40ページ)」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 縦4cm×横3cmの写真(正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの)の裏面に志望学部、学科、氏名を記入し、全面を糊付けの上、写真貼付欄にはがれないように貼付してください。
D 票 写真票	
E 票 住所票	入学手続等の連絡を行うために使用します。郵便番号、住所、氏名を記入してください。
F 票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、令和元年12月24日(火)～令和2年1月10日(金)〔午後3時まで〕の期間に振り込んでください。 ① 必要事項を記入し、金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の窓口で、入学検定料17,000円を振り込んでください。ATMでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は振り込みされる方の負担になります。 ② 振込後、収納印を受けたF-3票(検定料振込証明書)を〔B票 入学志願票(電算処理票)〕の所定の欄に貼付してください。
調査書	文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
H 票 推薦書	本学所定の様式を使用して、高等学校長が作成し、厳封してください。様式は、本学のホームページからダウンロードしたものも使用可能です。
I 票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための封筒として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵便分の切手を貼付してください。
J 票 出願用封筒	① 上記書類を入れて提出してください。 ② 「志望学部」欄、「志願者」欄等に必要事項を記入してください。

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち受験していない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意(38～41ページ)」を参照してください。

ジ)」を参照し、黒色のボールペン等を用い楷書で正しく明確に記入してください。

- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。試験日の7日前までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(6) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	17,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	17,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、振込済みの検定料振込証明書を同封して請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和2年2月28日（金）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点

システム科学技術学部			
教科	グループ	科目	配点
国語		『国語』	100
地理歴史		「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」	左記の10科目から1科目選択 100
公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	
数 学	①	『数学Ⅰ・数学 A』	100
	②	『数学Ⅱ・数学 B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目選択（『簿記・会計』又は『情報関係基礎』を選択する者は、当該単位の修得を条件とします。）	100
理 科	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択 100
	②	「物理」	100
	又は		
	②	「物理」	100
		「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から1科目選択 100
	◎ 理科については上記に加え、経営システム工学科を志望学科とする者に限り、次の科目による受験も可能とします。		
	グループ	科目	配点
	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択 100
	②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から1科目選択 100
	又は		
	②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の3科目から2科目選択 200
外国語		『英語』（リスニングを含む）	筆記 160 リスニング 40
合 計			800

生物資源科学部			
教科	グループ	科目	配点
国語		『国語』	100
地理歴史		「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」	左記の10科目から1科目選択 100
公民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	
数 学	①	『数学Ⅰ・数学 A』	100
	②	『数学Ⅱ・数学 B』	100
理 科	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の4科目から2科目選択 100
	②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	左記の4科目から1科目選択 100
	又は		
	②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	左記の4科目から2科目選択 200
外国語		『英語』（リスニングを含む）	筆記 80 リスニング 20
合 計			700

（注1）上記の教科・科目のうち受験しない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりませんので、注意してください。

（注2）「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

（注3）『英語』について大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、筆記の配点を、システム科学技術学部においては200点と、生物資源科学部においては100点とします。

（注4）表中、カッコの表記は、大学入試センター試験受験案内の表記と一致しています。

5 併願上の注意

- ① 国公立大学の推薦入試への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入学A・B）の合格発表後に、同一学科の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学I・特別推薦入学II）に限り出願することができます。（推薦入学A・Bでアグリビジネス学科に出願すると、他学科の推薦入学Cへの出願はできませんので、ご注意ください。）なお、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学I・特別推薦入学II）への出願は、いずれか一つに限られます。
- ③ 本学の推薦入試に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 推薦入試の合格者は、推薦入試の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和2年2月19日（水）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

6 選抜方法

大学入試センター試験の成績、推薦書、調査書、面接の結果を総合して判定します。

（1）試験日時等

試験日：令和2年2月1日（土）
 試験時間：午前11時から（時間は指定します）
 試験項目：面接

（2）試験場

- ① システム科学技術学部 本荘キャンパス
 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
 TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180
- ② 生物資源科学部 秋田キャンパス
 〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438
 TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

（3）面接の内容

- ① システム科学技術学部
 理科、数学についての基礎的な知識を問う試問を含め、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力などを確認するための面接を行います（試問の内容は調査書の履修内容に基づきます）。
- ② 生物資源科学部
 志望動機等、学ぶ意欲、コミュニケーション能力、行動力をみるための面接を行います。

（4）配 点

学 部	センター試験	面 接	合 計
システム科学技術学部	800	600	1,400
生物資源科学部	700	500	1,200

(5) 受験上の注意

- ① 「令和2年度大学入試センター試験受験票」と本学の「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」の両方を必ず持参してください。
- ② 受験者は、指定された試験時間の30分前までに、決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ③ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ④ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票等の交付を受けてください。又、各受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。
- ⑥ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑦ 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えないので注意してください。
- ⑧ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑨ その他の注意事項については、受験票送付の際に併せて通知します。

7 合格者発表

(1) 発表日時

令和2年2月12日(水) 午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 学部毎に、次の場所に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を、高等学校長には合否通知書を送付します。
システム科学技術学部 本荘キャンパス正面玄関前
生物資源科学部 秋田キャンパス正面入口前
- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の掲載

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

- ※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和2年2月18日(火)・19日(水)

(受付時間：午前9時～午後5時)

(2) 入学手続場所

システム科学技術学部 本荘キャンパス

生物資源科学部 秋田キャンパス

(3) 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続に必要な書類の提出は、原則として「本人持参」により行ってください。

その際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」及び「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」を必ず持参し、提示してください。

- ※入学手続の際に、大学に入学するまでの期間を有意義に過ごすための学習等説明会を開催します。

Ⅳ 特別推薦入学Ⅰ（大学入試センター試験・面接を課す）

1 出願資格

次の①から③までのいずれかに該当し、かつ④から⑥までの全てに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
- ④ 意欲的に勉学に励み、将来、社会のために貢献しようとする者として、高等学校長など
在学中の学校の長又は最終出身学校長が責任を持って推薦できる者
- ⑤ 令和2年度大学入試センター試験において本学が指定する教科・科目を受験する者
- ⑥ 合格した場合には入学を確約できる者

出願資格③のカにより出願資格を得ようとする者は、次の期間に本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。詳細については、本学ホームページを参照してください。

◎申請期間

令和元年11月18日（月）～11月22日（金）

◎申請先及び問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城下野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、31ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間及び出願方法

(1) 出願期間

令和元年12月16日（月）から12月20日（金）まで

（受付時間：午前9時～午後5時）

(2) 出願方法

- ① 出願は、「書留速達による郵送」又は「持参」により行ってください。
- ② 郵送、持参どちらの場合も、出願期間最終日の午後5時必着とします。

(3) 出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(4) 出願書類

出 願 書 類	留 意 事 項
A 票 入学志願票 (原票)	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（38・39ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 連絡先等の電話番号は携帯電話等の番号を記入しても差し支えありません。 ③ 大学入試センターから交付された令和2センター試験成績請求票 国公立推薦入試用を〔A 票 入学志願票（原票）〕の所定欄に正しく貼付してください。
B 票 入学志願票 (電算処理票)	
C 票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（40ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 縦4cm×横3cmの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの）の裏面に志望学部、学科、氏名を記入し、全面を糊付けの上、写真貼付欄にはがれないように貼付してください。
D 票 写真票	
E 票 住所票	入学手続等の連絡を行うために使用します。郵便番号、住所、氏名を記入してください。

F 票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、令和元年12月9日（月）～12月20日（金）〔午後3時まで〕の期間に振り込んでください。 ① 必要事項を記入し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で、入学検定料17,000円を振り込んでください。ATMでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は振り込みされる方の負担になります。 ② 振込後、収納印を受けたF－3票（検定料振込証明書）を〔B票 入学志願票（電算処理票）〕の所定の欄に貼付してください。
調査書	① 文部科学省所定の様式により高等学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過等により、調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿をもって調査書に代えることができます。 ② 高等専門学校3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、①に準じて提出してください。 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格し、一部の科目を高等学校等で修得している者は、当該学校の成績証明書も併せて提出してください。 （注）調査書は、発行日が令和元年4月1日以降のものを提出してください。
H 票 推薦書	本学所定の様式を使用して、高等学校長等在学中の学校の長又は最終出身学校の長が作成し、厳封してください。様式は、本学のホームページからダウンロードしたものも使用可能です。
I 票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための封筒として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵便分の切手を貼付してください。
J 票 出願用封筒	① 上記書類を入れて提出してください。 ② 「志望学部」欄、「志願者」欄等に必要事項を記入してください。 ③ 高等学校等で一括して提出する場合も、志願者ごとに「出願用封筒」に入れて提出してください。

（５）出願上の注意事項

- ① 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち受験していない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意（３８～４１ページ）」を参照し、黒色のボールペン等を用い楷書で正しく明確に記入してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。令和２年１月１０日（金）までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

（６）入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
（ア）入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	１７，０００円
（イ）入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	１７，０００円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、振込済みの検定料振込証明書を同封して請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和２年２月２８日（金）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教 科	グループ	科 目	
国 語		『国語』	
地理歴史		「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」 「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」	左記の10科目から 1 科目選択
公 民		「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」 『倫理，政治・経済』	
数 学	①	『数学Ⅰ・数学 A』	
	②	『数学Ⅱ・数学 B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から 1 科目選択（『簿記・会計』又は『情報関係基礎』を選択する者は、当該単位の修得を条件とします。）	
理 科	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の 4 科目から 2 科目選択
	②	「物理」	
	又は		
	②	「物理」	
		「化学」、「生物」、「地学」	左記の 3 科目から 1 科目選択
	◎ 理科については上記に加え、 <u>経営システム工学科を志望学科とする者に限り、次の科目による受験も可能とします。</u>		
	グループ	科 目	
	①	「物理基礎」、「化学基礎」 「生物基礎」、「地学基礎」	左記の 4 科目から 2 科目選択
	②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の 3 科目から 1 科目選択
	又は		
②	「化学」、「生物」、「地学」	左記の 3 科目から 2 科目選択	
外 国 語		『英語』（リスニングを含む）	

（注1） 上記の教科・科目のうち受験しない科目がある場合は、面接を受験しても合格者とはなりませんので、注意してください。

（注2） 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

（注3） 表中、カッコの表記は、大学入試センター試験受験案内の表記と一致しています。

5 併願上の注意

- ① 国公立大学の推薦入試への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入学A・B）の合格発表後に、同一学科の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学Ⅰ・特別推薦入学Ⅱ）に限り出願することができます。なお、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学Ⅰ・特別推薦入学Ⅱ）への出願は、いずれか一つに限られます。
- ③ 本学の推薦入試に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 推薦入試の合格者は、推薦入試の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和2年2月19日（水）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

6 選抜方法

推薦書、調査書、面接の結果を総合して判定します。

大学入試センター試験の成績については、基礎学力が一定の水準に達しているかどうかの判定に用います。

（1）面接

面接は、学ぶ意欲やコミュニケーション能力、行動力について重点的に評価します。又、理科及び数学についての基礎的な知識を問う試問も含みます（試問の内容は調査書の履修内容に基づきます）。

- ① 面接日：令和2年1月31日（金）

試験時間：試験時間については、令和2年1月10日（金）までに、志願者に別途お知らせします。

- ② 試験場

秋田拠点センターアルヴェ

〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町4-1

TEL 018-887-5310 FAX 018-887-5311

（2）大学入試センター試験の取扱い

大学入試センター試験によって基礎学力が一定の水準に達しているかどうかを判定します。

大学入試センター試験の受験を要する教科及び科目は21ページ「4 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目」に示すとおりです。

ここでいう「一定の水準に達している」とは、大学入試センターが発表する平均点、標準偏差により、受験を要する教科・科目について、建築環境システム学科の受験者は、次の①、②のいずれか、経営システム工学科の受験者は、次の①～③のいずれかを満たすものです。

- ① 教科・科目の得点の合計が、同じ教科・科目の平均点の合計以上であること。
- ② 教科・科目ごとの平均点から、標準偏差を引いた点数未満の科目が3科目以上ないこと。
- ③ 数学2科目について、それぞれの科目が平均点に標準偏差を足した点数以上であること。

(3) 受験上の注意

- ① 「令和2年度大学入試センター試験受験票」と本学の「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」の両方を必ず持参してください。
- ② 受験者は、指定された試験時間の30分前までに、決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ③ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ④ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票等の交付を受けてください。又、各受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。
- ⑥ 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じて責任を負えないので注意してください。
- ⑦ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑧ その他の注意事項については、受験票送付の際に併せて通知します。

7 合格者発表

(1) 発表日時

令和2年2月12日(水) 午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 次の場所に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を、推薦者には合否通知書を送付します。

システム科学技術学部 本荘キャンパス正面玄関前

- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の掲載

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

※インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和2年2月18日(火)・19日(水)

(時間：午前9時～午後5時)

(2) 入学手続場所

システム科学技術学部 本荘キャンパス

(3) 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続に必要な書類の提出は、原則として「本人持参」により行ってください。その際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」及び「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」を必ず持参し、提示してください。

ただし、やむを得ない事情により「本人持参」ができない場合は、郵送等によることも可能です。詳細については合格通知の際にお知らせします。

V 特別推薦入学Ⅱ（大学入試センター試験のみを課す）

1 出願資格

次の①から③までのいずれかに該当し、かつ④から⑥までの全てに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
- ④ 意欲的に勉学に励み、将来、社会のために貢献しようとする者として、高等学校長など
在学中の学校の長又は最終出身学校長が責任を持って推薦できる者
- ⑤ 令和2年度大学入試センター試験において本学が指定する教科・科目を受験する者
- ⑥ 合格した場合には入学を確約できる者

出願資格③の力により出願資格を得ようとする者は、次の期間に本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。詳細については、本学ホームページを参照してください。

◎申請期間

令和元年11月18日（月）～11月22日（金）

◎申請先及び問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、31ページ「1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について」を参照のうえ、できるだけ早く事前相談を行ってください。

3 出願期間及び出願方法

（1）出願期間

令和元年12月16日（月）から12月20日（金）まで

（受付時間：午前9時～午後5時）

（2）出願方法

- ① 出願は、「書留速達による郵送」又は「持参」により行ってください。
- ② 郵送、持参どちらの場合も、出願期間最終日の午後5時必着とします。

（3）出願先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

（4）出願書類

出 願 書 類	留 意 事 項
A票 入学志願票 （原票）	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（38・39ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。 ② 連絡先等の電話番号は携帯電話等の番号を記入しても差し支えありません。
B票 入学志願票 （電算処理票）	③ 大学入試センターから交付された令和2センター試験成績請求票 国公立推薦入試用を〔A票 入学志願票（原票）〕の所定欄に正しく貼付してください。

C 票 受験票	① 「出願書類の記入例及び記入上の注意（４０ページ）」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。
D 票 写真票	② 縦４ｃｍ×横３ｃｍの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前３か月以内に撮影したもの）の裏面に志望学部、学科、氏名を記入し、全面を糊付けの上、写真貼付欄にはがれないように貼付してください。
E 票 住所票	入学手続等の連絡を行うために使用します。郵便番号、住所、氏名を記入してください。
F 票 入学検定料振込用紙	入学検定料は、令和元年１２月９日（月）～１２月２０日（金）〔午後３時まで〕の期間に振り込んでください。 ① 必要事項を記入し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で、入学検定料１７,０００円を振り込んでください。ＡＴＭでの振り込みはできません。 なお、振込手数料は振り込みされる方の負担になります。 ② 振込後、収納印を受けたＦ－３票（検定料振込証明書）を〔Ｂ票 入学志願票（電算処理票）〕の所定の欄に貼付してください。
G 票 志望理由書	志望理由、自己ＰＲを含めて志望学科を目指す自らの思いについて８００字程度で自由に記述してください。
調査書	① 文部科学省所定の様式により高等学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。なお、指導要録の保存期間の経過等により、調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿をもって調査書に代えることができます。 ② 高等専門学校３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、①に準じて提出してください。 ③ 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者については、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格し、一部の科目を高等学校等で修得している者は、当該学校の成績証明書も併せて提出してください。 （注）調査書は、発行日が令和元年４月１日以降のものを提出してください。
H 票 推薦書	本学所定の様式を使用して、高等学校長等在学中の学校の長又は最終出身学校の長が作成し、厳封してください。様式は、本学のホームページからダウンロードしたものも使用可能です。
I 票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための封筒として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、速達郵便分の切手を貼付してください。
J 票 出願用封筒	① 上記書類を入れて提出してください。 ② 「志望学部」欄、「志願者」欄等に必要事項を記入してください。 ③ 高等学校等で一括して提出する場合も、志願者ごとに出願用封筒に入れて提出してください。

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち受験していない科目がある場合は、出願しても合格者とはなりません。
- ③ 出願書類の記入にあたっては、「出願書類の記入例及び記入上の注意（38～41ページ）」を参照し、黒色のボールペン等を用い楷書で正しく明確に記入してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願期間終了後に本人あてに送付します。令和2年1月10日（金）までに受験票が届かない場合は、前記「出願先」までお問い合わせください。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(6) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	17,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	17,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、振込済みの検定料振込証明書を同封して請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和2年2月28日（金）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点

教科	グループ	科目	配点
数 学	①	『数学Ⅰ・数学Ⅱ』	100
	②	『数学Ⅱ・数学Ⅲ』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目選択 (『簿記・会計』又は『情報関係基礎』を選択する者は、当該単位の修得を条件とします)	100
理 科		「物理」	100
合 計			300

(注1) 上記の教科・科目のうち受験しない科目がある場合は、出願しても合格者とはなりませんので、注意してください。

(注2) 表中、カッコの表記は、大学入試センター試験受験案内の表記と一致しています。

5 併願上の注意

- ① 国公立大学の推薦入試への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ② ただし、本学においては、大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入学A・B）の合格発表後に、同一学科の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学Ⅰ・特別推薦入学Ⅱ）に限り出願することができます。なお、大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入学C・特別推薦入学Ⅰ・特別推薦入学Ⅱ）への出願は、いずれか一つに限られます。
- ③ 本学の推薦入試に合格した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
- ④ 推薦入試の合格者は、推薦入試の趣旨から、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、合格者を推薦した学校長が、令和2年2月19日（水）までに秋田県立大学長あてに「推薦入学辞退願」を提出し、その許可が得られた場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退が許可された者は、本学及び他の国公立大学を受験することができます。
- ⑤ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を消失するとともに、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

6 選抜方法

大学入試センター試験の成績、志望理由書、推薦書、調査書を総合して判定します。

① センター試験	29ページの「4 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点」のとおりです。
② 志望理由書	志望理由、自己PRを含めて志望学科を目指す自らの思いについて800字程度で自由に記述してください。

※小論文、面接等は実施しません。

配点

センター試験	志望理由書	合計
300	100	400

7 合格者発表

(1) 発表日時

令和2年2月12日(水) 午後1時予定

(2) 発表方法

- ① 次の場所に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を、推薦者には可否通知書を送付します。

システム科学技術学部 本荘キャンパス正面玄関前

- ② 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の掲載

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>

※インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和2年2月18日(火)・19日(水)

(時間：午前9時～午後5時)

(2) 入学手続場所

システム科学技術学部 本荘キャンパス

(3) 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続に必要な書類の提出は、原則として「本人持参」により行ってください。その際、「令和2年度大学入試センター試験受験票」及び「令和2年度秋田県立大学入学試験受験票」を必ず持参し、提示してください。

ただし、やむを得ない事情により「本人持参」ができない場合は、郵送等によることも可能です。詳細については合格通知の際にお知らせします。

Ⅵ 共通事項（推薦入学A・B・C、特別推薦入学Ⅰ・Ⅱ）

1 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ち、できるだけ早く事前相談を行うようにしてください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入のうえ、医師の診断書等を添えて、以下の各期限までに相談してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に連絡をとることもあります。又、事前相談で希望する配慮が必ずしも実施できるとは限りません。相談先は、システム科学技術学部を志願する者は本荘キャンパス、生物資源科学部を志願する者は秋田キャンパスとなります。

又、各期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合についても、速やかにご相談ください。

推薦入学A・Bの場合	令和元年10月18日（金）まで
特別推薦入学Ⅰ・Ⅱの場合	令和元年11月22日（金）まで
推薦入学Cの場合	令和元年12月20日（金）まで

2 初年度納付金等について

（1）初年度納付金

① 入学料

ア 金 額	秋田県内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

（注）「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者又は1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。

なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

② 授業料

ア 金 額	年額	535,800円
-------	----	----------

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情又は不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

(2) 奨学金

① 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金。

詳細については、独立行政法人日本学生支援機構のホームページ等をご覧ください。

② この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の2つの特待生制度があります。

① 入学生特待生

次の認定要件を満たした者を『入学生特待生』と称し、原則として4年間、年間授業料に相当する奨学金を給付します。

認 定 要 件	秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者 ① 推薦入学C、特別推薦入学Ⅰにより選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学の定める配点の70%以上である者 ② AO入試、推薦入学A・B、特別推薦入学Ⅱにより選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学の定める配点の70%以上であることを証明する「成績通知書」を提出した者* ③ 一般入試により選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学の定める配点の75%以上である者（ただし、アグリビジネス学科の入学者は大学入試センター試験得点率が、本学の定める配点の75%以上であることを証明する「成績通知書」を提出した者*）
特待生の期間	決定された年度から4年間（当該年度の学業成績結果により、翌年度の奨学金が停止される場合がある）
付与する特典	認定証及び奨学金（年間授業料相当額）
定 員	なし（認定要件を満たした者すべて）

※ 認定要件②に該当する者と認定要件③に該当する者のうちアグリビジネス学科の入学者で入学生特待生を希望する者は、下記の＜本学の定める大学入試センター試験の教科・科目、配点＞を確認できる「成績通知書」の提出が必須となります。大学入試センター試験の出願時に成績開示手数料（手数料800円）を検定料と併せて払い込んでください。なお、入学後は大学入試センターから送付される「成績通知書」を本学の教育本部アドミッションチームに提出してください。

＜本学の定める大学入試センター試験の教科・科目、配点＞

- ・システム科学技術学部を受験する者は、14ページの「大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点」に記載している5教科7科目、又は5教科8科目、及び配点。
- ・生物資源科学部を受験する者は、14ページの「大学入試センター試験の受験を要する教科・科目及び配点」に記載している5教科7科目、又は5教科8科目、及び配点（アグリビジネス学科を受験する者においても、応用生物科学科・生物生産科学科・生物環境科学科と同様の5教科7科目、又は5教科8科目、配点も同様とする）。

② 在学生特待生

入学生特待生を除くすべての本学在学生（１年生を除く）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から選考し認定を受けた者を『在学生特待生』と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

（４）後援会

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職講座の受講等への助成等を行っています。

後援会費については４年間で50,000円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入会案内及び会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続きと併せ、入会の手続きをお願いします。

（５）学生寮

① 概要

本学には、次のとおり生物資源科学部の学生を対象とした学生寮があります。

寮名	収容人数	施設概要	居室形態	寮費(月額)	所在地
清新寮	男子120名 女子120名	鉄筋コンクリート 7 階建 男子 2 ～ 4 階 女子 5 ～ 7 階	完全個室 フローリング 8 畳 ベット台・机・クローゼット	46,000円 平日 2 食、土日祝日 3 食付 光熱水費代込み	秋田県南秋田郡大潟村字南2-2 大潟キャンパス隣接 (秋田キャンパスからは30キロメートル程離れています)

② 通学方法

学生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。(授業期間 1 日 7 往復、長期休暇期間 2 往復程度、いずれも平日のみ)。

シャトルバス以外の通学方法としては、大潟村が運営するマイタウンバス（平日 5 往復、休日 3 往復程度）と J R を乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する申請書類は合格通知書送付の際に同封します。又、申請受付は入学手続期間と同期間となります。

募集人員については、各入試区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選となります。

結果については申請受付締切日以降、順次書面にてお知らせする予定です。

入寮基準

＜＜自宅からの距離・時間＞＞

住居地が秋田キャンパスより60キロメートル以上離れている、又は片道1時間30分以上かかること。

＜＜経済的理由による入寮希望について＞＞

経済的理由により入寮を希望する学生で、本学が定める授業料減免申請基準を満たす者については、部屋が空いている場合は優先的に入寮を許可します。

【学生寮に関する問い合わせ先】

教育本部学生チーム（秋田キャンパス） TEL 018-872-1523

（6）下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等をしていきます。

4 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、不合格者のみの開示となるので注意してください。

（1）請求の方法 本人が、開示場所（受験した学部の所在キャンパス事務室）に出向いて請求してください。郵送等による請求はできません。
又、請求者が本人であることを確認するため、必ず本学の受験票を持参してください。

（2）開示する情報 得点（推薦入学A・Bの場合は小論文及び面接。推薦入学C、特別推薦入学Iの場合は大学入試センター試験（本学で合否判定に用いた科目）及び面接。特別推薦入学IIの場合は大学入試センター試験（本学で合否判定に用いた科目）及び志望理由書等）

（3）開示する期間 推薦入学A・Bは合格者発表の日から1か月間（土・日・祝日を除く）
推薦入学C及び特別推薦入学I・IIは文部科学省が定める当該年度入学者選抜試験終了日の翌日（令和2年4月16日）から1か月間（土・日・祝日を除く）

（4）開示する場所

システム科学技術学部受験者 本荘キャンパス

生物資源科学部受験者 秋田キャンパス

（5）入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

5 入学前の指導

入学手続き者に対して課題添削・スクーリング等入学前指導を実施します。科目・日程など詳細については、入学手続き者に別途お知らせします。

6 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ①入学者選抜（出願手続、選抜実施、統計処理などの付随する業務）
- ②合格者発表
- ③入学手続
- ④次年度以降の学生募集

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

(3) 国公立大学の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名及び大学入試センターの受験番号に合否及び入学手続等に関する個人情報を付して、大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

(4) 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

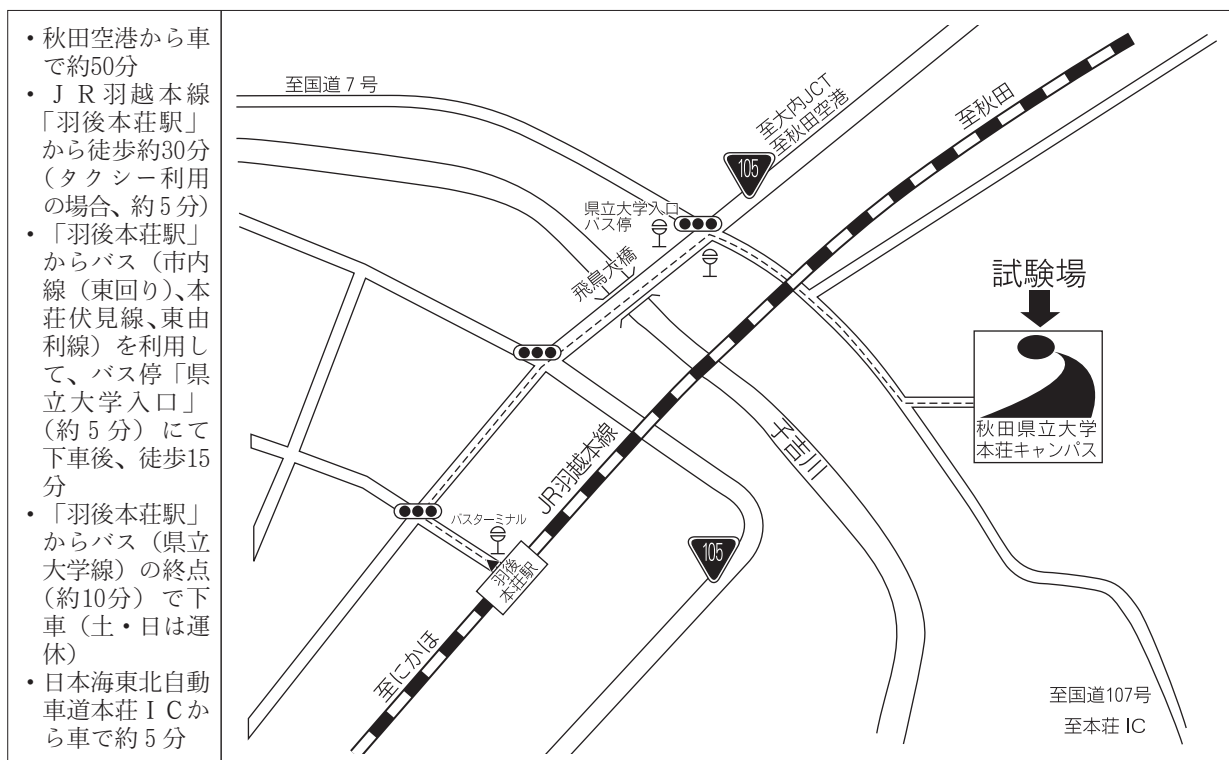
- ①教務関係（学籍、修学指導等）
- ②学生支援関係（奨学金申請等）
- ③授業料徴収

(5) 本学に出願した者及び保護者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

7 試験場案内

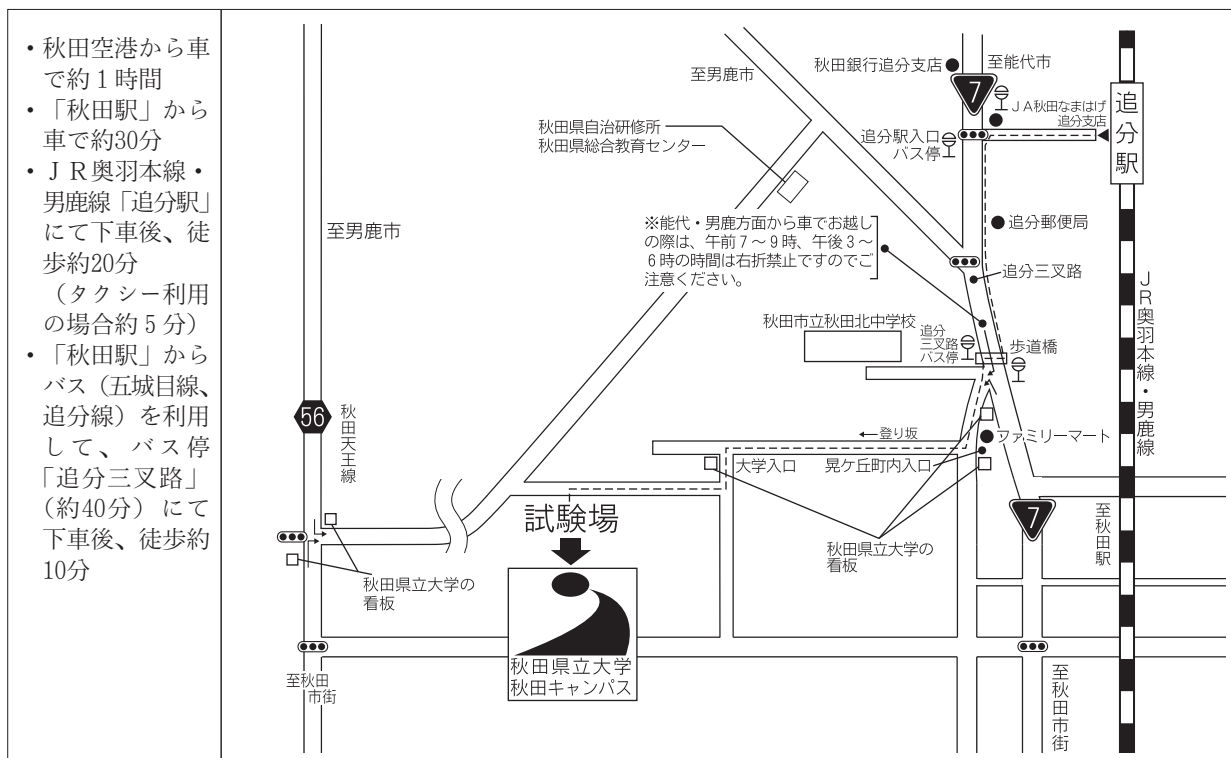
◎システム科学技術学部 本荘キャンパス

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL 0184-27-2100



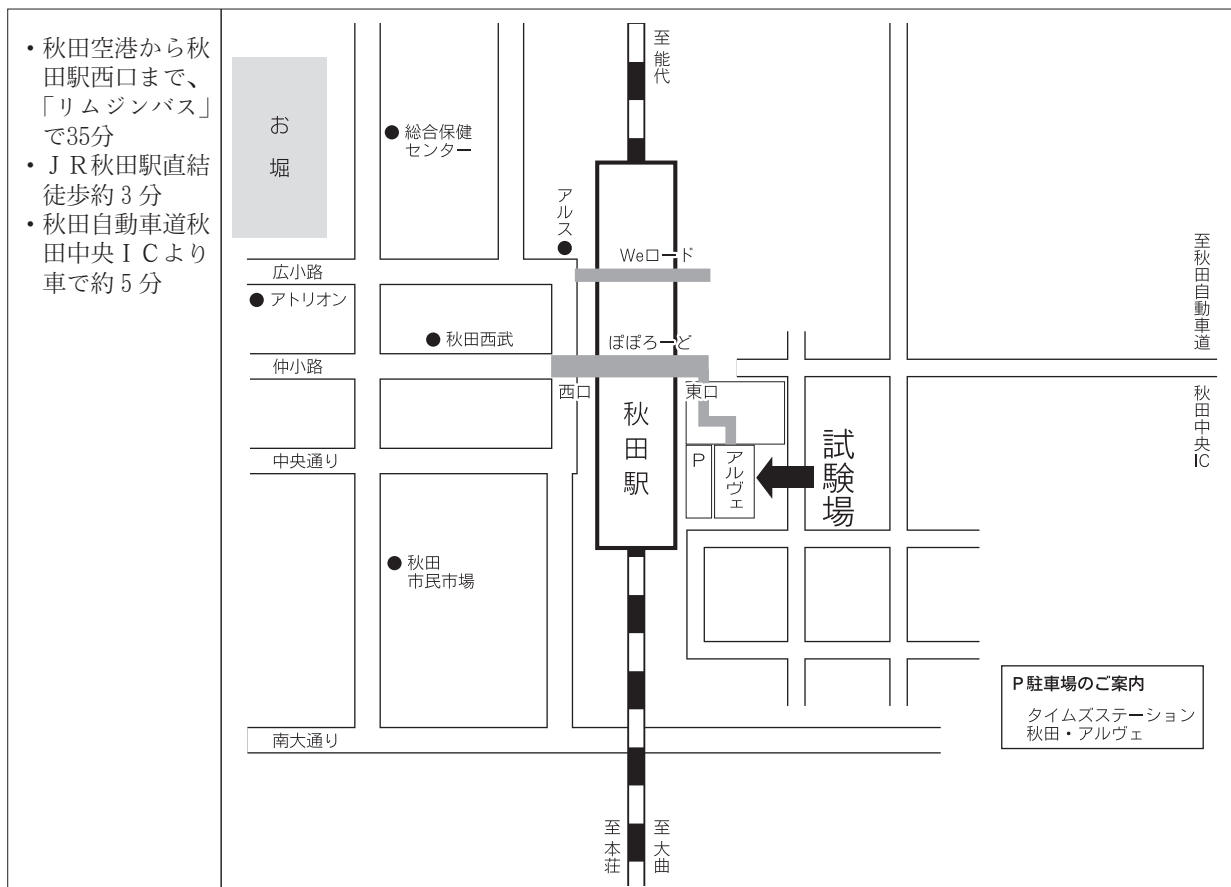
◎生物資源科学部 秋田キャンパス

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438 TEL 018-872-1535



◎秋田拠点センターアルヴェ

〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町4-1 TEL 018-887-5310



◇出願書類の記入例及び記入上の注意

- ・黒色のボールペン等で記入してください。
- ・誤って記入した場合は、二重線で消して、正しい内容を記入してください。

A 票

(記入例は、推薦入学Cを例としていますが、各入試区分もこれに準じて記入してください。)

令和2年度 秋田県立大学 【推薦入試】 入学志願票 (原票)

何も記入しないでください。

		受験番号		※	
入 試 区 分	1 推薦入学A 2 推薦入学B ③ 推薦入学C 7 特別推薦入学I 8 特別推薦入学II				
志 望 学 部	1 システム科学技術学部		1 機械工学科 2 知能メカトロニクス学科 3 情報工学科 4 建築環境システム学科 5 経営システム工学科 志望学科		
志 望 学 科	② 生物資源科学部		6 応用生物科学科 7 生物生産科学科 ⑧ 生物環境科学科 9 アグリビジネス学科 志望学科 8		

- 注1 該当する入試区分・志望学部・志望学科を○で囲み、志望学科の番号を□内に記入してください。
 2 ※印の欄には記入しないでください。

令和2年度大学入試センター試験

**国公立推薦入試用
成績請求票貼付欄**

この成績請求票がないと、本学の受験はできませんので、必ず貼付してください。

貼付忘れに注意してください。



R2センター試験成績請求票

【国公立推薦入試用】貼付欄

推薦入学A・Bの志願者は不要

推薦入学C・特別推薦入学I・IIの

志願者は必ず貼付してください。

満点、半満点は1マスを
使用し、左から詰めて記
入してください。

入学手続書類を送付する住所と日中に連絡の取れる電話番号を記入してください。携帯電話番号でも可とします。

志願者欄の住所と同じ場合は、「同上」でも可とします。

大学入試センターの「受験案内」のH高等学校等コード表より記入してください。

志 願 者	氏 名	(カナ) ナカノ コマチ	
	(漢字) 姓	中 野	
	名	こまち	
保 護 者	性別・生年月日・国籍	② ①:男 ②:女 ④ ③:昭和 ④:平成 ① ④ 年 ① ① 月 ① ⑤ 日生 ① ①:日本 ②:外国	
	住 所	〒 010 (都道府県名) (郡・市名) (区・町村名) (町・丁目番地・棟・号名) (方) - 0195 秋田県 秋田市 下新城 中野字街道端西 241番535号 県大アパート101号	
	電話番号	018 - 872 - 1535 日中に連絡の取れる電話番号を記入 左詰、局番の間はハイフン"-"を記入	
出 願 資 格	氏 名 等	中 野 学 (フリガナ ナカノマナブ) (本人との続柄 父)	
	住 所	〒 010 (都道府県名) (郡・市名) (区・町村名) (町・丁目番地・棟・号名) (方) - 8570 秋田県 秋田市 山王四丁目1番2号	
	電話番号	018 - 123 - 4567 志願者欄と異なる番号(携帯電話等)があれば記入	
【高等学校等コード】 05999E 【学校名】 秋田学院高等 学校			
出 願 資 格	高等学校又は中等教育学校卒業者 (卒業見込者を含む)		高等学校等卒業生以外
	【課程】 1 ①:全日制 ②:定時制 ③:通信制 ④:その他	【卒業等】 ⑤ ③:昭和 ④:平成 ⑤:令和 ② 年 ③ 月 1 ①:卒業見込み ②:卒業	1:外国の学校等 2:在外教育施設 3:専修学校高等課程修了者 4:文部科学大臣が指定した者 5:高等学校卒業程度認定試験 6:高専3年修了 7:その他 ()
	【学科】 1 ①:普通科 ②:理数科 ③:農業系学科 ④:工業系学科 ⑤:商業系学科 ⑥:総合学科 ⑦:その他 ()		

生年月日は和暦で記入してください。生年月日の数字が1ケタの場合「01」のように「0」を記入してください。

(記入例は、推薦入学Cを例としていますが、各入試区分もこれに準じて記入してください。)

B 票

令和2年度 秋田県立大学 【推薦入試】 入学志願票(電算処理票)

何も記入しないでください。

		受験番号		※	
入試区分	1 推薦入学A 2 推薦入学B ③ 推薦入学C 7 特別推薦入学I 8 特別推薦入学II				
志望学部	1 システム科学技術学部		1 機械工学科 2 知能メカトロニクス学科 3 情報工学科 4 建築環境システム学科 5 経営システム工学科		志望学科
志望学科	② 生物資源科学部		6 応用生物科学科 7 生物生産科学科 ⑧ 生物環境科学科 9 アグリビジネス学科		志望学科 8

注1 該当する入試区分・志望学部・志望学科を○で囲み、志望学科の番号を□内に記入してください。
2 ※印の欄には記入しないでください。

大学入試センター試験の情報 推薦入学A・B志願者は不要	試験場コード 222222	受験番号 1111K	発行回数 1
--------------------------------	-----------------------------	--------------------------	----------------------

志願者	氏名	(カナ) ナカノ コマチ	日中に連絡の取れる電話番号を記入してください。携帯電話番号でも可とします。
	性別・生年月日・国籍	2 ② 1:男 2:女 4 ④ 3:昭和 4:平成 14年 01月 05日生 1 ① 1:日本 2:外国	
出願資格	電話番号	018-872-1535 日中に連絡の取れる電話番号を記入 局番の間には“-”(ハイフン)を記入	生年月日は和暦で記入してください。生年月日の数字が1ケタの場合「01」のように「0」を記入してください。
	高等学校又は中等教育学校卒業者(卒業見込者を含む)		
	【高等学校等コード】 05999E 【学校名】 秋田学院高等 学校		
	【卒業等】 ① 卒業見込み 2 卒業 1 【左記の年月】 3 昭和 4 平成 5 令和 5 年 2 月 3		
【課程】 ① 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他 1		【学科】 ① 普通科 6 総合学科 2 理数科 7 その他 () 3 農業系学科 4 工業系学科 5 商業系学科 1	F-3票 (検定料振込証明書) 貼付欄 ※金融機関の収納印があることを必ず確認のうえ、はがれないようにしっかり貼り付けてください。
高等学校等卒業者以外 1 外国の学校等 2 在外教育施設 3 専修学校高等課程修了者 4 文部科学大臣が指定した者 5 高等学校卒業程度認定試験 6 高専3年修了 7 その他 ()			

日中に連絡の取れる電話番号を記入してください。携帯電話番号でも可とします。

大学入試センターの「受験案内」のH高等学校等コード表より記入してください。

濁点、半濁点は1マスを使用し、左から詰めて記入してください。

生年月日は和暦で記入してください。生年月日の数字が1ケタの場合「01」のように「0」を記入してください。

必ず、F-3票(検定料振込証明書)を貼付してください。

共通

(記入例は、推薦入学Cを例としていますが、各入試区分もこれに準じて記入してください。)

令和2年度 秋田県立大学 入学試験 受験票〔推薦入試〕

入試区分・志望学部を○で囲んでください。

何も記入しないでください。

C 票

受験番号		※
入試区分	推薦入学A ・ 推薦入学B ・ 推薦入学C 特別推薦入学I ・ 特別推薦入学II	写真貼付欄 〈 注 意 〉 正面上半身、無帽、背景なしで 出願前3か月以内に撮影したもの 縦4cm×横3cm
志望学部	システム科学技術学部 ・ 生物資源科学部	
志望学科	生物環境科 学科	
フリガナ	ナカノ コマチ	
氏 名	中野 こまち (男・女)	

注意事項 ◇推薦A・B・C 特別推薦入学I ◇共通

- 1 受験票は、試験当日必ず携帯してください。
- 2 裏面の注意事項も必ず読んでください。
- 1 該当する入試区分・志望学部を○で囲み、志望学科を記入してください。
- 2 受験票は、入学手続きの際に必要となるので紛失しないでください。
- 3 ※印の欄には記入しないでください。

令和2年度 秋田県立大学 入学試験 写真票〔推薦入試〕

何も記入しないでください。

D 票

受験番号		※
入試区分	推薦入学A ・ 推薦入学B ・ 推薦入学C 特別推薦入学I ・ 特別推薦入学II	写真貼付欄 〈 注 意 〉 正面上半身、無帽、背景なしで 出願前3か月以内に撮影したもの 縦4cm×横3cm
志望学部	システム科学技術学部 ・ 生物資源科学部	
志望学科	生物環境科 学科	
フリガナ	ナカノ コマチ	
氏 名	中野 こまち (男・女)	

注意事項 1 該当する入試区分・志望学部を○で囲み、志望学科を記入してください。
2 ※印の欄には記入しないでください。

※各票の入試区分、志望学部、学科等の記載がすべて同じであることを確かめてから出願してください。

※C票とD票は、鮮明な同一の写真を貼付してください。

必ずB票入学志願票（電算処理票）
に貼付して提出してください。

振込内容

令和2年度入学者選抜試験入学検定料
(推薦入試)

振込期間

F 票

推薦入学 A・B：令和元年10月25日(金)～令和元年11月8日(金)
推薦入学 C：令和元年12月24日(火)～令和2年1月10日(金)
特別推薦入学 I・II：令和元年12月9日(月)～令和元年12月20日(金)
入試区分によって振込期間が異なりますのでご注意ください。

17,000円

振込金額

- ※ 下の振込依頼書により、銀行等金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で振込手続きをしてください。
- ※ 手数料は振り込みされる方が負担してください。
- ※ 金額訂正された振込依頼書はお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ※ この振込依頼書は、切り取らず、このまま振込手続きをしてください。
- ※ 必ず窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキングは利用しないでください。

(問い合わせ先) 秋田キャンパス アドミッションチーム
018-872-1535

推薦

F-3 票

検定料振込証明書
(秋田県立大学提出用)

整理番号	令和2年度入学者選抜試験入学検定料(推薦入試用)
金額	17,000円
氏名	中野こまち
※B票入学志願票（電算処理票）の所定欄に、必ず貼付すること	

志願者の氏名等を記入してください。

県大銀	1.12.24	収納
-----	---------	----

収納印または振替印

(取扱店→本人)

F-2 票

振込金
(兼手数料)

秋田県立大学令和2年度
入学者選抜試験入学検定料
(推薦入試用)

受取書

依頼日	令和元年12月24日
金額	17,000円
銀行名	秋田銀行 追分支店
受取人	公立大学法人 秋田県立大学
整理番号	
志願者氏名	中野こまち
手数料	

上記の金額正に受取りました。

県大銀	1.12.24	収納
-----	---------	----

収納印または振替印

(取扱店→本人)

F-1 票

◎受付銀行へお願い

直接コンピュータで処理するため

整理番号を氏名頭部に必ず入力してください。

してください。

電信政

振込依頼書 秋田県立大学令和2年度
入学者選抜試験入学検定料 (推薦入試用)

依頼日	令和元年12月24日	振込手数料					
振込先	秋田銀行 追分支店	金額	¥	1	7	0	0
普通	0331330						
公立大学法人	秋田県立大学						
コウリツダイガクホウジン	アキタケンリツダイガク						
整理番号							
フリガナ氏名	ナカノ コマチ						
住所	〒010-0195 TEL 018-872-1535 秋田県秋田市下新城中野字街道端西24番555号県大ワート101号						

フリガナも正確に記入願います。

収納印または振替印

県大銀 1.12.24 収納

本線のなかば、志願者において記入してください。
振込手数料は志願者の負担となります。

必ず「収納印」等が押されていることを確認してください。

共通

高大接続改革に係る本学の入学者選抜改革の概要について（予告）

本学では、令和2（2020）年度から実施予定の、令和3（2021）年度入学者選抜の「一般選抜（現：一般入試）」、「学校推薦型選抜（現：推薦入試）」、「総合型選抜（現：AO入試）」について、これまでの決定事項を本学ホームページ等で公表しております。

今後も更なる詳細事項が決まり次第、順次本学ホームページ等で公表を予定しております。

秋田県立大学「学部入試情報」ページ <https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-gakubu/>

《受験生の方へ》

試験当日の所持品チェック表

◎推薦入学A・B

1	令和2年度秋田県立大学入学試験受験票	
2	H Bの鉛筆（シャープペンシル可）	
3	消しゴム	
4	鉛筆削り	
5	時計（時計機能のみのもの）	
6	昼食	

◎推薦入学C、特別推薦入学I

1	令和2年度大学入試センター試験受験票	
2	令和2年度秋田県立大学入学試験受験票	
3	H Bの鉛筆（シャープペンシル可）	
4	消しゴム	
5	鉛筆削り	
6	時計（時計機能のみのもの）	
7	昼食	

添付資料

次の資料が同封してありますので確認してください。

書 類 名	チェック欄			
	推薦入学 A・B	推薦入学 C	特別推薦 入学Ⅰ	特別推薦 入学Ⅱ
A票 入学志願票（原票）				
B票 入学志願票（電算処理票）				
C票 受験票				
D票 写真票				
E票 住所票				
F票 入学検定料振込用紙				
G票 志望理由書	—	—	—	
H票 推薦書				
I票 受験票送付用封筒				
J票 出願用封筒				

出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術学部

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 学生・アドミッションチーム（本荘キャンパス）

TEL 0184-27-2100

FAX 0184-27-2180

生物資源科学部

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

ホームページアドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>